

2019年度 大学院医学研究科
基礎臨床共通講義 I - 医科学研究基礎講座 - (日程表)

2020年2月27日

● 医科学研究基礎講座

No.	講義日	タイトル	担当教員	専門分野	講義内容	会場
1	H31.04.23(火)	薬物・薬品管理の基本	丑丸 真	分子機能生化学 毒物劇物管理委員会	ホルマリンなど毒物・劇物・危険物の性質をまとめ、それらを保管・使用・廃棄する時の注意点を紹介する。	A
2	H31.04.25(木)	医学研究の倫理	苺田 香苗	社会医療情報学	医学研究計画立案にあたっての人権と倫理に関する基本的問題について考える。医学研究における倫理問題の歴史的背景を辿り、現行の倫理基準と倫理審査の状況を理解する。あわせて倫理委員会の役割や機能、インフォームドコンセント(同意書)等について事例を踏まえつつ学ぶ。	A
3	R1.5.14	動物実験に関する基本的事項	永根 基雄	実験動物施設部門	動物の取扱いを含む基本的技術を学ぶとともに動物実験に従事する者の倫理原則としての4R(Reduction, Replacement, Refinement, Responsibility)を理解する。加えて医学部実験動物施設の利用方法についても知る。	A
4	R1.5.17(金)	疫学研究の基礎	苺田 香苗	社会医療情報学	疫学という学問の成り立ちと歴史、および疫学研究の分類とそれぞれの長所・短所について学ぶ。疫学研究における因果関係やエラーに関する事例を挙げ、マッチング・無作為化・層化などの手法により誤差やバイアスを制御する方法について検討を行う。	A
5	R1.6.14(金)	医学文献収集管理の技術	笹谷 裕子 赤木 美智雄	医学図書館	医学研究に役立つ文献情報の探し方をPubMed、医中誌、SCOPUS を使って学ぶ。また、文献管理ソフトRefWorks の紹介をする。	B
6	R1.6.19(水)	質量分析計を用いたタンパク質解析	福富 俊之 櫻井 裕之	分子細胞薬理学 蛋白質・核酸解析部門	質量分析計の基礎と質量分析計を用いたタンパク質解析およびプロテオミクスについて概説する。	A
7	R1.6.21(金)	疫学研究の実践	苺田 香苗	社会医療情報学	統計的仮説検定の考え方とリスク指標について学び、実際に研究論文で使われる疫学指標についての理解を深める。比較のために標準化する方法や検査結果の精度など、医学データの統計解析に必要な基礎知識と実践能力を身につける。	A
8	R1.6.27(木)	がんの分子生物学と臨床検査	大西 宏明	臨床検査医学	がんの発症・進展・薬剤感受性に関与する遺伝子変化と、その臨床検査への応用について概説する。	A
9	R1.7.3(水)	非侵襲的脳機能計測法の臨床への応用	寺尾 安生	生体機能実験部門	臨床的に用いられる非侵襲的な脳機能計測法の原理と臨床への応用について、実際の症例を示しつつ解説する。	A
10	R1.7.30(火)	遺伝子組み換えマウスの作成と解析	三嶋 竜弥	病態生理学	遺伝子組み換えマウス作成の概略を簡潔に説明する。また、その技法を用いた生体機能の解析について、遺伝子改変動物を用いた研究例を紹介する。	A
11	R1.09.30(月)	SPSS 基礎編1	高木 晴良	東京医療保健大学大学院 看護学研究科 准教授	基礎編1	B
12	R1.10.02(水)	SPSS 基礎編2	高木 晴良	東京医療保健大学大学院 看護学研究科 准教授	基礎編2	B
13	R1.10.7(月)	がんの心理社会的側面、臨床試験、費用対効果と利害相反	古瀬 純司	腫瘍内科学	「がん」患者の心理社会的状況と対応、がん治療の臨床試験、費用の問題、がん臨床や研究に関わる者の利害相反など基本的知識を理解する。	A
14	R1.10.11(金)	がんの生物学と病理学	千葉 知宏	病理学	腫瘍の発生、悪性化、増殖シグナルについて、病理学的な基礎事項とこれまで行ってきた研究内容を解説する。	A
15	R1.10.16(水)	がん治療の現状と将来 — 高齢社会におけるがん診療 —	長島 文夫	腫瘍内科学	超高齢社会に突入した日本では、高齢者のがん診療を行う機会が急増しています。現在のとり組みと現場の課題について説明します。	A
16	R1.11.7(木)	慢性炎症性疾患—肥満症—	木崎 節子	社会医療情報学	肥満症の病態形成の中心に全身性慢性炎症がある。そのメカニズムについて免疫系と脂肪組織の関連を中心に解説する。	A
17	R1.11.15(金)	遺伝子の単離とその機能の解析	青柳 共太	分子細胞生物学	分子生物学の基礎的な事項を概説した後、現在の基礎医学研究に不可欠な分子生物学的な手技・手法について解説を行う。	A
18	R1.11.26(火)	X線から重粒子線まで =放射線治療の基礎と臨床=	江原 威	放射線腫瘍学	高精度化する放射線治療についてX線と重粒子線を中心に生物学・物理学の基礎から臨床例までを解説する。	A
19	R2.1.16(木)	論文を書こう	阿部 展次	消化器・一般外科学	なぜ研究をするのか？なぜ論文を書くのか？どのように書くのか？などについて概説する。	A
20	R2.1.15(水)	放射線の基礎と医学研究への応用	小藤 剛史	RI部門	放射線・放射性同位元素(RI)の基礎知識を概説し、実際の基礎医学研究への利用方法や応用について講義を行う。	A
21	R2.1.20(月)	形態学的研究法	秋元 義弘	解剖学	生体を構成する組織・細胞の微細構築を解析する手技と、生体高分子の機能局在を調べる組織細胞化学の基礎的技術について解説する	A
22	R2.1.28(火)	研究成果発表の技術	今泉 美佳	分子細胞生物学	学会発表は自分の研究成果の重要性をアピールするチャンスである。説得力のある発表スライドやポスターを製作し、効果的な発表を行うためのスキルを講義する。	A
23	R2.2.6(木)	実験データのデジタル画像処理・解析	宮東 昭彦	顕微解剖学	顕微鏡写真等を題材に、デジタル画像の基本、論文投稿までの画像処理、ImageJを用いたデータの数値化について解説する。	A
24	【開講中止】 R2.3.4(水)	フローサイトメトリーの基礎と応用	高橋 良	FCM部門	フローサイトメトリーとは、どのような測定装置なのかを紹介し、実験での実際の使用方法と応用を解説する。	A
25	【開講延期】 3月頃 日程調整中	SPSS 応用編①	高木 晴良	東京医療保健大学大学院 看護学研究科 准教授	応用編①(予定)	B
26	【開講延期】 3月頃 日程調整中	SPSS 応用編②	高木 晴良	東京医療保健大学大学院 看護学研究科 准教授	応用編②(予定)	B

講義時間: 18:30~20:00

受講確認: 講師が受講確認を行います。
受講確認と併せて、講義終了後、アンケートの提出を以って受講したと認めます。

会場A: 基礎医学研究棟3階 会議室
会場B: 看護・医学教育研究棟1階 PC室
会場C: 第2病棟4階 大学院講堂